

# 「大学で学ぶ」

フレセミ 2012.5.31 (心理学類合同)

心理学類  
2クラス担任  
望月 聡

## 「学士力」(4分野/13項目)



<http://shinken-ad.co.jp/between/trend/pdf/vol01-2.pdf>

## 「社会人基礎力」(3つの能力/12の能力要素)

### 「社会人基礎力」とは



平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(議長 徳島大学学長)の提言「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

### <3つの能力/12の能力要素>



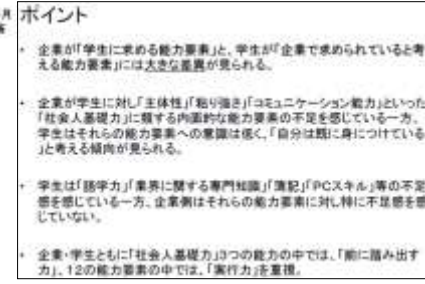
[http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/kisoryoku\\_image.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/kisoryoku_image.pdf)

平成21年度就職支援体制調査事業

大学生の「社会人観」の把握と「社会人基礎力」の認知度向上実証に関する調査

こんな調査もある

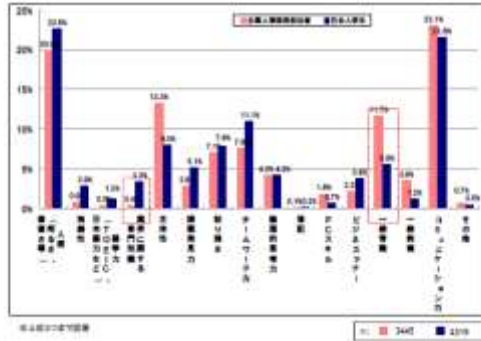
平成22年6月  
経済産業省



<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/shakajinkan.pdf>

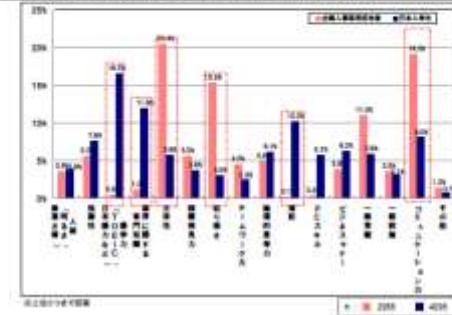
1-1-1 社会に出て活躍するために必要だと考える能力要素【対日本人学生・対企業】

・企業・日本人学生ともに「人柄(明るさや素直さ等)」「コミュニケーション力」を必要な能力要素と考えている。  
 ・「一般常識」の必要性ならびに「業界に関する専門知識」への意識に差異が見られる。



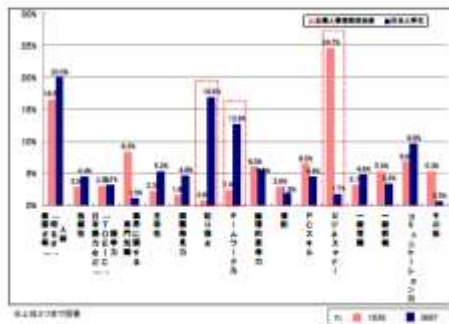
1-1-2 自分に不足していると思う能力要素【対日本人学生】  
 学生に不足していると思う能力要素【対企業】

・企業側は学生に対し、「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション力」といった内面的な基本能力の不足を感じている。それに対して学生は、技術・スキル系の能力要素が自らに不足していると考えている。  
 ・企業側が「学生に求める能力要素」と学生が「企業から求められていると考えている能力要素」ならびにその水準には、大きなギャップが存在する。



1-1-3 自分が既に身に付けていると思う能力要素【対日本人学生】  
 学生が既に身に付けていると思う能力要素【対企業】

・学生側は「チームワーク力」「粘り強さ」といった能力要素に関して、既に身に付けていると考えている。しかし企業側は、その水準に達していないと考えている。



心理学類では...

『筑波スタンダード』に掲げられている

「目的・目標」

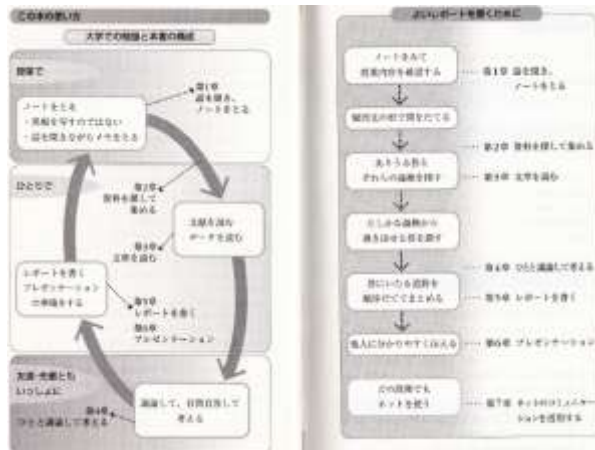
人間の心と行動に関する幅広い興味や関心を基盤に、人間の心や行動を科学的・実証的に分析し理解する姿勢及び専門的な知識や技能を身に付け、これらの学習を生かして、実際的な問題を主体的かつ創造的に解決する力を育成することを目指しています。

## 心理学類では...

『筑波スタンダード』に掲げられている

### 「身につける能力」

- ・心理学に関する専門的知識と実験・調査を通してデータを収集し、科学的に分析する能力
- ・研究成果を発表し、討論ができる能力
- ・他者を理解し、協力して物事を成し遂げる態度と能力
- ・英語による発表能力とコミュニケーション能力



専修大学出版企画委員会 (2006). 知のツールボックス 新入生援助(フレッシュマンおたすけ)集 専修大学出版局

## 「7章立て」

1. 話を聞き、ノートをとる
2. 資料を探して集める
3. 文章を読む
4. ひとと議論して考える
5. レポートを書く
6. プレゼンテーション
7. ネットのコミュニケーションを活用する



専修大学出版企画委員会 (2006). 知のツールボックス 新入生援助(フレッシュマンおたすけ)集 専修大学出版局

## 8つの力

1. 聞く力
2. 課題発見力
3. 情報収集力
4. 情報整理力
5. 読む力(読解力)
6. 書く力(執筆力)
7. データ分析力
8. プレゼンテーション力



山田剛史・林創 (2011). 大学生のためのリサーチリテラシー入門 —研究のための8つの力— ミネルヴァ書房

## 8つの力の関係



図1 8つの力の関係

山田剛史・林創 (2011). 大学生のためのリサーチリテラシー入門 -研究のための8つの力- ミネルヴァ書房

## 「ノートをとれ」とは言われないう

- 教科書 (あつたりなかつたり)
- プリント配付資料 (配られたりwebで)
- パワポ (配られたりwebで;  
配られなかつたりさえする)
- 黒板 (使ったり使わなかつたり)

...ということは、何をどこにどう書くかは各人まかせであるがゆえに、試験やレポートでは「思い出せる」ような「手がかり」として、少なくともどこかに「記そう」。

## 1. 聞く力

- 1.1 話を聞くこと
- 1.2 ノートの取り方
- 1.3 大学教員とのコミュニケーション

1. 聞く力
2. 課題発見力
3. 情報収集力
4. 情報整理力
5. 読む力(読解力)
6. 書く力(執筆力)
7. データ分析力
8. プレゼンテーション力

## 2. 課題発見力

- 2.1 自分でテーマ(課題)を見つけるということ
- 2.2 テーマの決め方

1. 聞く力
2. 課題発見力
3. 情報収集力
4. 情報整理力
5. 読む力(読解力)
6. 書く力(執筆力)
7. データ分析力
8. プレゼンテーション力

## メウロコ・ハゲドウ・ナツイカ・ハゲパツ



戸田山和久(2002). 論文の教室 ―レポートから卒論まで― NHKブックス  
 (ついでに推薦)戸田山和久(2005). 科学哲学の冒険 ―サイエンスの目的と方法をさぐる― NHKブックス

## 3. 情報収集力

1. 聞く力
2. 課題発見力
3. **情報収集力**
4. 情報整理力
5. 読む力(読解力)
6. 書く力(執筆力)
7. データ分析力
8. プレゼンテーション力

- 3.1 情報収集力とは何か?
- 3.2 情報収集の基本
- 3.3 インターネットを使った情報収集
- 3.4 文献検索と収集の方法
- 3.5 図書館の使い方
- 3.6 文献に関する感覚を磨こう

## 「筑波大学附属図書館」様



## 「PubMed」様



## 「Google Scholar」様



## 実はこれは年をとるほど重要

- 社会人になっても、大学院生になっても
- スケジュールとか、段取りとかにも通ずる。
- ただし、好みや適否の要素が大きい。模索。
- いろんな「ビジネス書」があります。



デビッドアレン(著)・田口元(監修)(2008) はじめてのGTD ストレスフリーの整理術  
二見書房

## 4. 情報整理力

- 4.1 整理の原則は簡潔に
- 4.2 研究関連の情報整理
- 4.3 自分に合う方法を探る

1. 聞く力
2. 課題発見力
3. 情報収集力
4. **情報整理力**
5. 読む力(読解力)
6. 書く力(執筆力)
7. データ分析力
8. プレゼンテーション力

## 5. 読む力(読解力)

- 5.1 学術的文章とクリティカルシンキング
- 5.2 文献の概要の把握
- 5.3 クリティカルシンキングによる精読
- 5.4 その他の読み方のヒント
- 5.5 知識が増える喜びを知る

1. 聞く力
2. 課題発見力
3. 情報収集力
4. 情報整理力
5. **読む力(読解力)**
6. 書く力(執筆力)
7. データ分析力
8. プレゼンテーション力

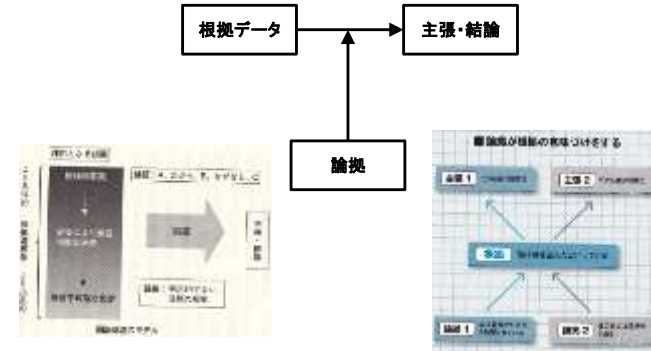
# クリティカルシンキング？

- 「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(Zuchmeister & Johnson, 1992)」
- 研究論文を読むようになったらこれを。

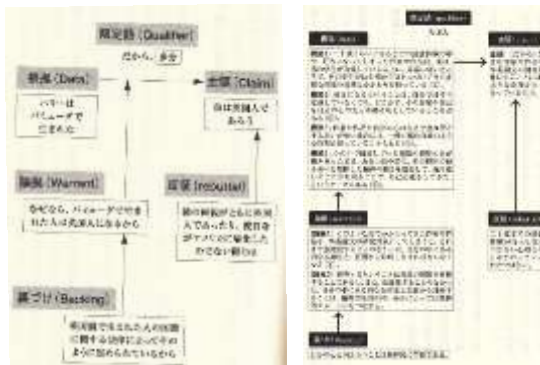


メルツォフ著・中澤潤監訳(2005). クリティカルシンキング—研究論文編 北大路書房

# 論理→「論証」



# もう少し複雑...



# →正当な議論, 論理, 対話, 説明...

- 「福澤一吉」本 6冊



福澤一吉(2002). 議論のレッスン 生活人新書  
 福澤一吉(2005). 論理表現のレッスン 生活人新書  
 福澤一吉(2007). わかりあう対話10のルール ちくま新書  
 福澤一吉(2007). 科学的に説明する技術—その仮説は本当に正しいか サイエンス・アイ新書  
 福澤一吉(2010). 議論のルール NHKブックス  
 福澤一吉(2002). 文章を論理で読み解くためのクリティカル・リーディング NHK出版新書

正統派ではないほうが、面白い。



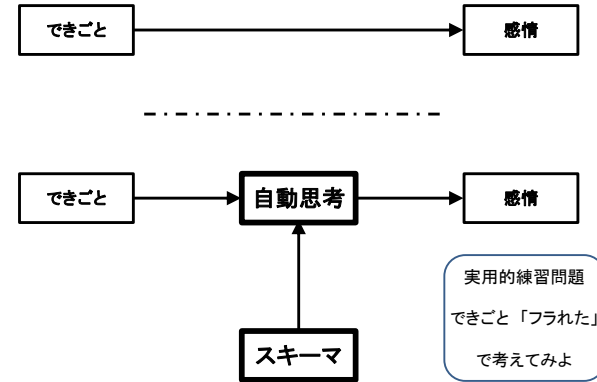
香西秀信(1995). 反論の技術 —その意義と訓練方法 明治図書  
 香西秀信(2010). レトリックと詭弁 —禁断の議論術講座 ちくま文庫  
 ロバート・グーラ(著)・山形浩生(訳)(2006). 論理で人をだます法 朝日新聞社  
 仲正昌樹(2006). ネット時代の反論術 文春新書

## 6. 書く力(執筆力)

1. 聞く力
2. 課題発見力
3. 情報収集力
4. 情報整理力
5. 読む力(読解力)
6. **書く力(執筆力)**
7. データ分析力
8. プレゼンテーション力

- 6.1 大学で求められるレポートや論文とは？
- 6.2 よいレポートとよくないレポート
- 6.3 「読む」と「書く」は表裏一体
- 6.4 約束事を守る
- 6.5 執筆の進め方
- 6.6 文章技術の向上
- 6.7 レポートや論文がうまく書けるようになるために

(余談)「認知療法」も基本は同じ



## 構成(レポート課題など)



三つの構構パターン

- パターンA:「こう思う。なぜなら」型  
問題提起→結論→論証
- パターンB:「いろいろ考えたらこんなになりました」型  
問題提起→論証→結論
- パターンC:「そーじゃなくて、こーでしょ」型  
問題提起→論証のうち「先行研究の批判」→結論→論証

戸田山和久(2002). 論文の教室 —レポートから卒論まで— NHKブックス



## 心理学論文の書き方のルール

- 日本心理学会「執筆・投稿の手びき」

[http://www.psych.or.jp/publication/inst/tebiki2005\\_fixed.pdf](http://www.psych.or.jp/publication/inst/tebiki2005_fixed.pdf)



## ウソだとわかるのが能力

- 「データに騙されるな」「だまされないために」



谷岡一郎(2000). 「社会調査」のウソ —リサーチ・リテラシーのすすめ 文春新書  
谷岡一郎(2007). データはウソをつく —科学的な社会調査の方法 ちくまプリマー新書

## 7. データ分析力

1. 聞く力
2. 課題発見力
3. 情報収集力
4. 情報整理力
5. 読む力(読解力)
6. 書く力(執筆力)
7. **データ分析力**
8. プレゼンテーション力

- 7.1 リサーチリテラシーとしての統計
- 7.2 統計を使った嘘
- 7.3 標本調査における結果のバラツキ: 標本誤差
- 7.4 クリティカルシンキングの必要性
- 7.5 統計的仮説検定の考え方

## 心理統計

- 心理学を学んだ証であり、武器である

- 推測統計という考え方
- 多変量解析
- 「個人差」をどうみるか



浦上昌則・脇田貴文(2008). 心理学・社会科学研究のための調査論文の読み方 東京図書

## 8. プレゼンテーション力

1. 聞く力
2. 課題発見力
3. 情報収集力
4. 情報整理力
5. 読む力(読解力)
6. 書く力(執筆力)
7. データ分析力
8. **プレゼンテーション力**

- 8.1 プレゼンは苦手...と思う前に
- 8.2 聞き手を意識してプレゼンしよう
- 8.3 よいプレゼンとは
- 8.4 プレゼンテーションソフトの利用
- 8.5 プレゼンのコツ
- 8.6 プレゼンのための勉強

プレゼン失敗の原因は全て「聴講者が困っている状態への想像力の欠如」です ←だそうです

### • 伝える技術

概観を先に与える 視覚情報を与える 聴講者に「届けろ」意識を持つ  
適量を守る 「まとめ」を与える

### • プレゼンの話術

### • スライド作成のコツ

### • 説得する技術

論理力 構成力 比喩力 事例力



藤澤晃治(2010). 心を動かすプレゼンの技術 一人前で話すのが苦手なあなたへ  
角川oneテーマ21

心を動かすどうのこのよりも  
「分かりやすい」を考えるほうが基本



- 藤澤晃治(1999). 「分かりやすい表現」の技術 一意図を正しく伝えるための16のルール 講談社ブルーバックス  
藤澤晃治(2002). 「分かりやすい説明」の技術 最強のプレゼンテーション15のルール 講談社ブルーバックス  
藤澤晃治(2004). 「分かりやすい文章」の技術 読み手を説得する18のテクニック 講談社ブルーバックス (※未読)  
藤澤晃治(2007). 分かりやすい図解コミュニケーション術 講談社+α新書  
藤澤晃治(2008). 「分かりやすい教え方」の技術 「教え上手」になるための13のポイント 講談社ブルーバックス

## (おまけ) 英語とのつきあい方

- 実感としての比重  
「読む」>「書く」>「聞く」>「話す」
- 専門用語(キーワード)は学習せねばならぬ
- 英語雑誌論文を読む → 「全訳はしない」という方針
  - 時間がないことが多い
  - たくさん読まなければならないことが多い
  - パラグラフフリーディングということ
  - ディスコース(論理) マーカーということ